

NYI412FK05

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては、責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付 属 品	
●施工説明書(本紙).....	1枚
●取扱説明書.....	1枚
●ネジ(露出ボックス取付用)(M4×10)...	2本
●ネジ(埋込ボックス取付用)(M4×40)...	4本

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

ぬれた手で副受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。感電・故障の原因となります。

施工説明書にしたがい、その質量に十分耐えるように、強固に取り付ける。
安易な取り付けは脱落によりケガの原因となります。
受信機の電源(AC100V)を切り、受信機内部の電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

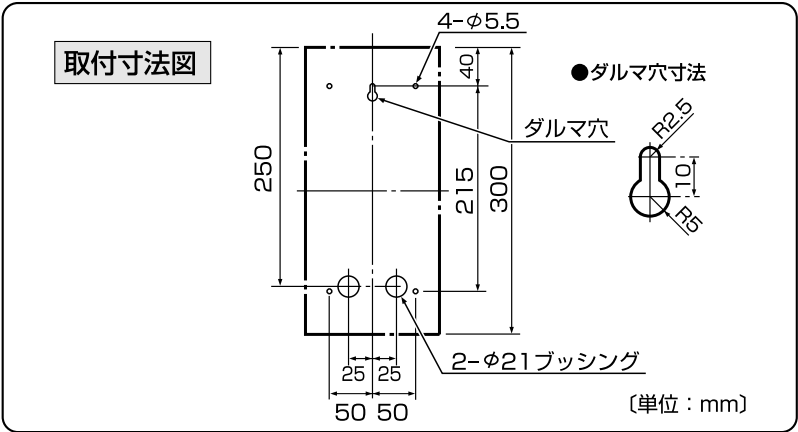
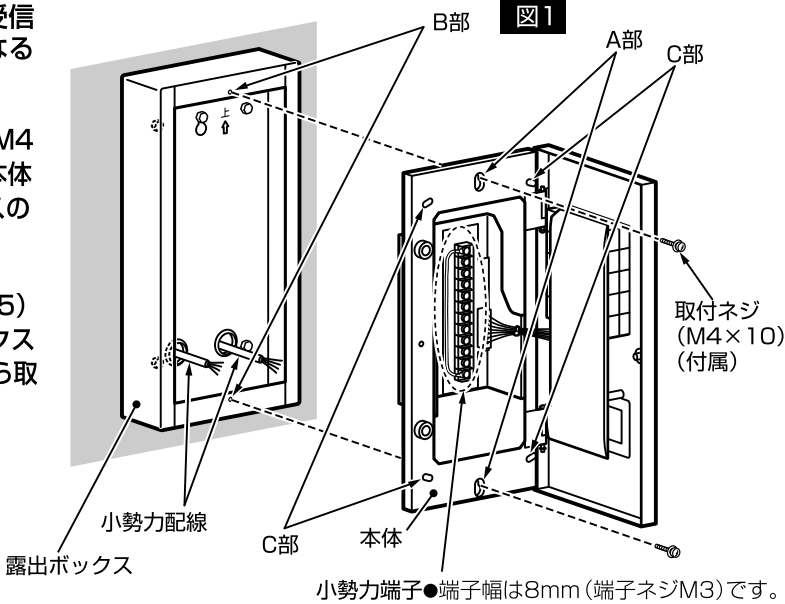
取 付 方 法

露出取付の場合

1. 使用するブッシングを刃物などであける。
2. 取付位置を決める。
 - 中央上部のダルマ穴は露出ボックス取り付け時の位置決め用としてご利用ください。
 - 露出ボックスの底上げは9mmです。
3. 入線を行う。
4. 露出ボックスSJ型(NBY418EJH)(別売)を取り付ける。

●上下を間違わないよう露出ボックスSJ型(NBY418EJH)(別売)内の表示マーク(上)が上にくるように取り付けてください。

●床面に対して、垂直になるように取り付けてください。傾斜角度が大きいと副受信機の扉の開きが悪くなる場合があります。
5. 付属の取付ネジ(上下各1ヵ所)(M4×10)をB部に仮り止めして、本体の扉をあけ、A部を露出ボックスのB部に引っ掛けてください。
6. 本体のA部は、すべて長穴(9×15)となっていますので、露出ボックス側面に本体枠側面を合わせながら取付ネジ(2ヵ所)をしめる。
7. 配線する。
※「接続方法」参照。
8. 本体の扉をしめる。



埋込取付の場合

1. 入線を行う。
2. JIS 5コ用スイッチボックス(カバーなし)(市販)を取り付ける。
3. 付属の取付ネジ(4ヵ所)(M4×40)を本体のC部に挿入し、取り付ける。

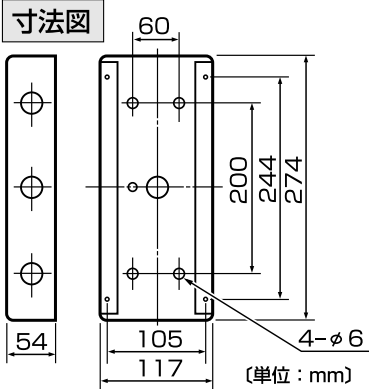


図1参照 ※その他の取付方法は、露出取付と同じです。

接 続 方 法

副受信機を複数台接続する場合は、受信機または副受信機と並列に接続してください。ただし、総接続個数については、受信機の電源容量に注意してください。

■P型2級受信機との接続

●副受信機と受信機を接続するには、「移信用リレーユニット(別売)」が必要です。「移信用リレーユニット(別売)」を受信機に取り付けただけで、副受信機と受信機間の接続を行ってください。受信機の種類によって、適合する「移信用リレーユニット」が異なりますのでご注意ください。(表1 参照)

警告

受信機の電源(AC100V)を切り、受信機内部の電池を取りはずした状態で施工する。活線工事は感電・故障の原因となります。

端子ネジは、確実にしめつける。感電や発熱・故障の原因となります。

表1 移信用リレーユニット適合品番(□は回線数)

受信機品番	移信用リレーユニット品番
NBP234AK05	NBY429
NBP235AKA0□	NBY430

電線はφ0.9~φ1.6を使用してください。

■その他の受信機の場合は別途お問い合わせください。

